

## 外国人技能実習生と福祉を学ぶ高校生の交流会

熊本県立芦北高等学校

- 1 交流の目的 福祉を学ぶ高校生が、介護実習や将来介護施設に勤務する中で、外国人技能実習生の方々と出会い、関わる場面があることが予測されます。今回の交流では、互いの文化や価値観について学び合い、多様性への理解を深める機会とすることを目的としています。また、職業教育とキャリア教育の両面から、将来を見据え、生きて働く力を身につけることを期待しています。
- 2 内 容 11月29日に本校の福祉科1・2年生と熊本市南区の特別養護老人ホーム天寿園で働く外国人技能実習生との交流会を実施しました。天寿園は2019年からミャンマーの技能実習生を受け入れられ、現在11名が働いているそうです。交流会では、そのうち4人の実習生が来校され、日頃の仕事やミャンマーについて紹介していただきました。その後は、グループに分かれて高齢者介護について感じたことや、夢などを互いに話し合いました。
- 3 その他 下記の報道機関でも取り上げられました。是非検索してください。
  - (1) KKT NEWS NNN：福祉を学ぶ高校生と外国人技能実習生が交流
  - (2) TKU ニュース：外国人技能実習生と高校生が福祉を通して語り合う交流会【熊本】
  - (3) RKK 熊本放送：「ギブ・アンド・テイクみたいな関係を」国境を越えて介護・福祉の未来を担う高校生とミャンマー人実習生が交流

